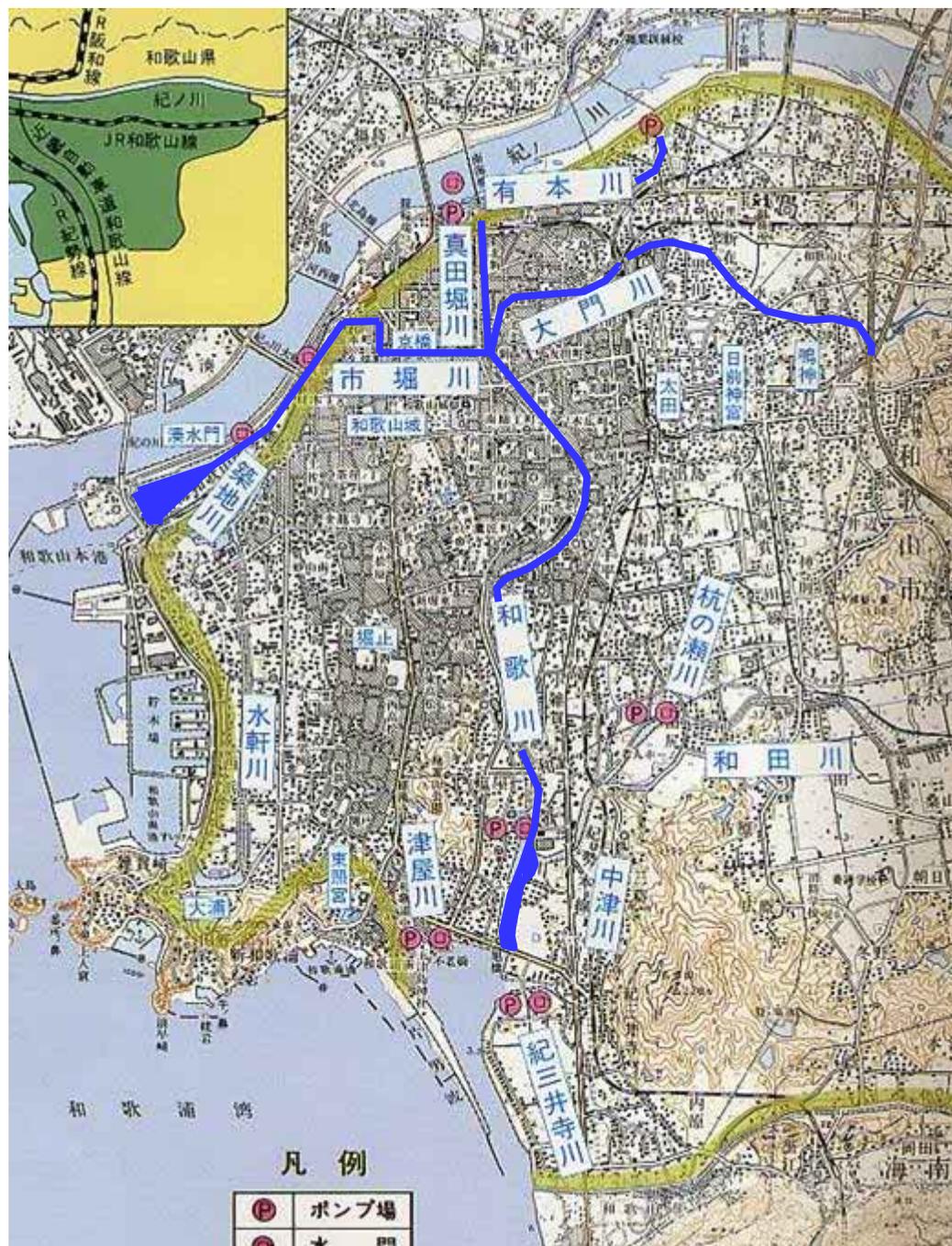


## 4. 環境保全対策

## 4-1 内川浄化事業

# 内川について

内川は、和歌川、市堀川、大門川、真田堀川、有本川を総称した呼び名です。



# 大門川の水質

大門川の水質は悪く、早期の改善が望まれます。

大門川環境基準点  
伊勢橋の水質

伊勢橋 (BOD mg/l)		
年度	75%値	平均値
H6	11	10.6
H7	24	17.8
H8	24	18.0
H9	25	17.8
H10	14	12.9
H11	19	18.0



大門川(新興橋から下流)

## 全国水質調査ワースト5

【河川 (BOD)】		
①井天川 (香川)		22
②櫻井川下流 (大阪)		20
③谷八木川 (兵庫)		18
④大門川 (和歌山)		18
⑤南浅川 (東京)		17
⑥東除川 (大阪)		17
⑦榑得川 (沖縄)		17

【湖沼 (COD)】		
①手賀沼 (千葉)		18
②印旛沼 (千葉)		12
③牛久沼 (茨城)		11
④佐鳴湖 (静岡)		11
⑤油ヶ淵 (愛知)		9.5

(年度平均値、単位mg/リットル)

環境庁は二十一日、平成十一年度の実施した全国の河川や湖沼と地下水の水質調査結果を発表した。水質汚濁の目安となる化学的酸素要求量(COD)などの調査開始以来、過去最高となつた。一方、地下水の環境基準達成率は、全体で七八・七％と十年度より〇・八％改善。昭和四十六年の調査開始以来、過去最高となつた。一方、地下水の調査では五千九百九十九本の井戸のうち、有害物質が環境基準を超えているものは全体の五・六％(前年度二・一％)と、汚染井戸が前年度より増えた。河川の環境基準達成率は八一・五％と過去最高だったが、海城は七四・五％、湖沼は四五・一％と低い水準にとどまった。河川では香川県の井天川の水質が最も悪く、生物学的酸素要求量(BOD)は二・一％だった。海

## 河川は水質改善

ワースト1、香川・井天川

環境庁発表

環境達成率が最低だったのは伊勢川の五〇％で、東京六三％、大阪六七％と大都市の河川での汚染が続いている。湖沼の汚染では、千葉県の手賀沼はCODが一リットルあたり一八リットルで、順位を付けるようになった昭和四十九年以來二十六年連続でワーストワン。ヒ素や鉛など有害物質の環境基準の達成率は九九・二％だった。生活排水の中に多く含まれ、富栄養化の原因となるリンと窒素の環境基準の達成率も湖沼は四〇・六％、海城では七二・六％にとどまった。環境庁は「河川は規制の効果で年々改善されているが、湖沼対策に力を入れる必要がある」として、国は工場などからの排出量を削減する総量規制の対策に、平成十六年度から窒素とリンを追加するなど対策を強化する。

# 清流ルネッサンス21

## 目的

21世紀に向け、良好な水環境への改善を図るため、地元市町村や地域住民と一体となって河川事業と下水道事業を緊急的、重点的、積極的に支援していく仕組みである。

## 概要

平成5年11月に和歌川清流ルネッサンス21協議会が設立され、「和歌山市内河川網水環境緊急行動計画」平成10年3月に策定し、現在事業を実施中。

## メンバー

国土交通省、和歌山県、和歌山市、  
内川美化推進会、和歌山青年会議所

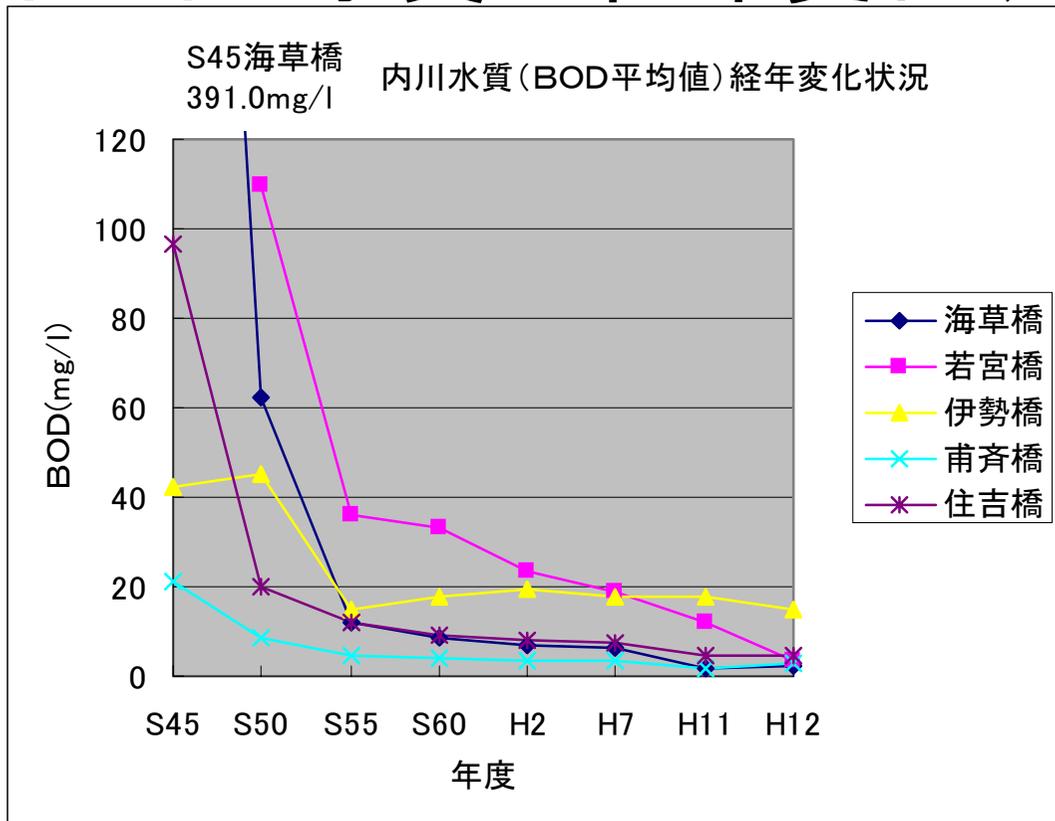
# 有本揚排水機場の目的



平成12年度からの導水により、環境基準地点若宮橋のBOD75%値は4.7mg/lで、環境基準を満足しています。

BOD75%値 (mg/l)	
年度	若宮橋
H6	19
H7	25
H8	23
H9	18
H10	15
H11	16
H12	4.7

# 内川の水質の経年変化(BOD平均値)



導水時の有本川  
(平成13年4月撮影)



内川水質(BOD平均値)経年変化状況表

河川名	環境基準地点	(mg/l)							
		S45	S50	S55	S60	H2	H7	H11	H12
和歌川	海草橋	391.0	62.4	12.0	8.4	6.9	6.3	2.0	2.5
有本川	若宮橋		109.7	36.0	33.0	23.6	19.0	12.0	3.5
大門川	伊勢橋	42.5	45.0	15.0	18.0	19.2	17.8	18.0	15.0
真田堀川	甫斉橋	21.0	8.6	4.3	3.8	3.2	3.7	2.0	2.9
市堀川	住吉橋	96.6	20.1	12.0	9.0	7.9	7.3	4.3	4.6

H12より有本川に浄化用水導入開始